

# 書評シンポジウム

## ヤン・プランパー『感情史の始まり』

(森田直子 監訳、みすず書房、2020年) <https://www.msz.co.jp/book/detail/08953/>

《登壇者》

※ 英語・日本語 同時通訳付き

ヤン・プランパー (ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ)

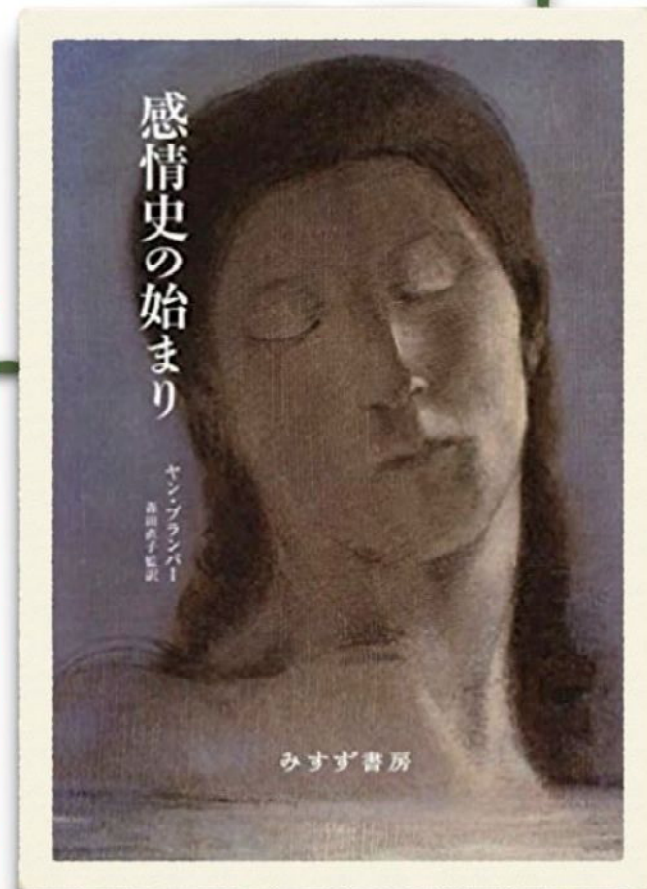
栗屋 利江 (東京外国語大学、南アジア近代史)

大平 英樹 (名古屋大学、感情心理学)

小田原 琳 (東京外国語大学、イタリア現代史)

平山 昇 (神奈川大学、日本近代史)

司会：小野寺 拓也 (東京外国語大学、ドイツ現代史)



主催：科研費（基盤研究（B））「感情体制」と生きられた感情  
—エゴドキュメントに見る「近代性」（2019-2022年度）

共催：現代史研究会、パブリックヒストリー研究会

問い合わせ：tonodera[at]tufs.ac.jp



登録（～4月8日 or 500名）

<https://forms.gle/zPECNkJCYwzCsCcB8>

2021年4月10日（土）

18:00 - 21:30 JST

@Zoom（要登録）